

人が人を助けるのが人間である。人間は、子供がころんでいるのを見て、すぐに起してやり、また水に落ちているのを見て、すぐに引き上げてやることができる。人間は万物の霊長であるから、自分の思うように働き、人を助けることができるのは、ありがたいことではないか。

……「天地は語る」四十九条……

### 解説

昔から「人間は万物の霊長」と言われています。「霊長」とは、「あらゆる生き物の中で一番優れた者」の事でありますが、そういった人間の能力の中でも教祖様が、一番素晴らしいと仰られるのが「人を助けることが出来る」ことでもあります。私達人間が、人や他の生き物の難儀を見て、助けずにはおられぬ「憐憫の情」と、その「手段」を持ち合わせていることは正に天地の親神様の「分け御霊」を頂いているからであります。故に私達は「神のおかげにめぐみ、神心となって、人を祈り 助け 導く」ことが一層、身に着いて参りますよう、共に、信心の稽古に励まして頂くうではありませんか。